

心の風景

私の海田町

く変わり続けるまち、
つながる思い

第3回

七夕

企画課

☎ 823-9212
FAX 823-9203



▲昔の七夕行事（『海田町史 通史編』より）

7月7日は七夕の日です。海田町でも昔から七夕行事が行われていました。
今回は、昔の七夕行事を知るとともに、現在、海田町の七夕を代表する行事「かいた七夕さん」について、実行委員会会長の田川房雄さんに話を聞きます。

七夕行事

牽牛・織女の二星をまつり、7月7日は井戸がえといって井戸のなかへ入り、水を残らずくみ上げて掃除をしました。

家々では笹を立て、これに

願いごとを書いた短冊や紙人形・月星などの切紙で飾りつけました。



▲現在、海田町で行われる七夕行事「かいた七夕さん」

田川房雄さん

私は、「かいた七夕さん」は昔の七夕行事でいうところの井戸が瀬野川に代わっただけと考えています。命の源と言ったらおかげさかもしれません。瀬野川の水で生活しており、瀬野川の水が命を繋いでいます。そのため、「かいた七夕さん」を通して、瀬野川への感謝の思いを伝えてほしいですね。

「かいた七夕さん」を続けていて嬉しい話もあります。「子どものときに参加して楽しかったから大人になってボランティアをしている」という人、「短冊に書いた願い事が叶った」という人などです。子どもの時に家族や友達と行ったお祭りなどは大人になっても忘れない大切な思い出となりますが、今ではそのような経験をする機会がなくなってきたと感じます。ですので、「かいた七夕さん」がその機会となることを願っています。

これからも「かいた七夕さん」を開催できる環境を残してほしいです。瀬野川はとてもきれいな川です。そのようなふるさとの美しい環境を維持することを意識してほしいですね。

